

事業報告書

2022年4月1日 ～ 2023年3月31日

公益財団法人 藤原ナチュラルヒストリー振興財団

公益財団法人藤原ナチュラルヒストリー振興財団
2022年度 事業報告

I. 事業の状況

1. ナチュラルヒストリーの学術研究に対する助成(定款第4条第1項第1号)【公1】

ナチュラルヒストリーの分野を動物・非動物に分け、今年度は日本国内の大学、研究施設に勤務するか、又は日本国内に居住する動物分野の研究を行っている個人又はグループに対し、研究に必要な資金を助成する。

・2023年2月1日開催の理事会において、動物学171名の申請の中から、2回の選考委員会によって選ばれた23名、総額15,000,000円を2022年度の学術研究助成者として承認した。
なお、当年度は辞退者はなく、承認された合計23名、総額15,000,000円の助成金を贈呈した。

(助成者一覧:別表1参照)

・2019年度第28回の助成者1名について、助成者名簿から削除をすることとした。
この助成者については、3年の延長を認めており、2023年4月に研究成果報告書並びに決算報告書の提出予定であったが、研究をおこなっていなかったため助成金の返還を行い、名簿から削除することとした。

2. 初等中等教育機関におけるナチュラルヒストリーの学習支援、並びに教員の研究活動に必要な実験器材や教材等への補助(定款第4条第1項第2号)【公1】

2022年度は、初等中等教育機関の中で、特に高等学校における生物の授業に必要な備品の購入等への補助を、日本国内の高等学校、並びに各国の日本人学校の高等部に対し行う。

補助の内容は、(A)①必要な備品の購入、②日本国内での課外活動に必要な交通費等、(B)古い生徒用顕微鏡の買換えとする。

・2023年2月1日開催の理事会において、34件(A①12件、②2件、B20件)の申請の中から、2回の選考委員会によって選ばれた5件(A①1件・②0件、B4件)について検討し、総額3,709,200円(A①492,800円、②該当なし、B3,216,400円)を2022年度の高等学校助成校として承認し、各校に贈呈した。

尚、本助成の当年度予算額は400万円であったが、差額の290,800円については、次年度への繰り越し予定である。

(助成校一覧:別表2参照)

3. その他この法人の目的を達成するために必要な事業(定款第4条第1項第3号)

(1)2022年度シンポジウム【公2】

2022年9月23日ナチュラルヒストリーに関する第14回シンポジウム(テーマ:感染症の自然史)は、新型コロナウイルスの影響を鑑み、前年度と同様にオンライン形式で開催し、4名の講師による以下の講演を行い、参加者は140名であった。

- ・門司和彦(長崎大学) 「感染症の自然史と衛生学」
- ・山本太郎(長崎大学熱帯医学研究所) 「エイズの起源と歴史」
- ・和田崇之(大阪公立大学) 「遺伝子解析が語る結核菌と人類の歴史」
- ・美田敏宏(順天堂大学) 「ゆるやかな進化学が紐解くマラリアの薬剤耐性」

(2)2022年度高校生ポスター研究発表【公2】

第12回高校生ポスター研究発表を、昨年同様、オンラインで11月13日に開催した。1校1課題として、14校の高校生によるポスター発表が行われた。事前に接続並びに操作方法等のテストを行ったこともあり、大きな問題も無く終了した。また、西田治文先生より、「化石が語る花の歴史—日本にいつ花が咲いたか—」と題した特別講演も行われた。

発表後に以下のとおり、最優秀賞1件、優秀賞2件を表彰した。

最優秀賞

「ヒキガエルの色彩パターンを用いた生態調査」

東京都立科学技術高等学校：城 陽太・錦織 智崇・細井 托人

優秀賞

「形態観察によるカマキリのカマの進化の考察」

横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校：安藤 嶺

「輝安鉱の人工合成～中性による水熱合成法～」

愛媛県立西条高等学校：桑村 翔・佐々木 飛和、他10名

(3)2022年度フォトコンテスト【他1】

第9回中学生・高校生フォトコンテストを、7月1日から9月30日までを応募期間として開催し、256名の応募があった。伊藤元己フォトコンテスト選考委員長の「第9回中学生・高校生フォトコンテスト選考経過報告書」を基に、11月18日に電磁的理事会を開催し、以下のとおり最優秀賞1名並びに優秀賞3名、佳作10名を決定した。(優秀賞は同点であったため、予定の2名ではなく3名とした。)

最優秀賞 「いつまで乗るの？」赤木 伸太郎さん(東京学芸大学附属国際中等教育学校)

優秀賞 「濁流に背を向ける」菊田 倫太郎さん(北海道釧路工業高等学校)

「明るい未来へ」林 龍一郎さん(筑波大学附属駒場中学校)

「強さの断面」中川 明香 さん(京都教育大学附属高等学校)

佳 作 「ゲリラ豪雨寸前」矢田 光輝 さん(大阪府池田市立渋谷中学校)他9作品

又、一般の第14回フォトコンテストは、10月1日から11月30日までを応募期間として開催し、78名の応募があり、伊藤元己フォトコンテスト選考委員長の「第14回フォトコンテスト選考経過報告書」を基に、2023年2月1日開催の理事会において、以下のとおり最優秀賞1名、優秀賞2名、佳作8名を決定した。

最優秀賞 「奇岩の上の月食」川口 勉

優秀賞 「ドレスを纏うキノコの女王」小和泉 春男

「見つけられるかな!？」中野 和真

佳 作 「明日への飛躍」高島 賢 他7作品

各フォトコンテストの受賞作品及びコメントを当財団ホームページに掲載した。全応募作品も掲載済みである。

(4)財団設立40周年記念冊子について

過去の研究助成者からの寄稿、40周年記念イベントについて、藤原ナチュラルヒストリー振興財団のあゆみや自然科学界のできごとを年表にしたものなどを纏めた、40周年記念冊子を2023年3月末に刊行した。

II. 庶務の概要

① 役員会等に関する事項

(1) 理事会(総理事数9名、定足数5名)

定款第44条により、電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、理事会決議があったものとみなすこととなっております。

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果	出席人数
2022年5月27日	1 2021年度事業報告及び附属明細書承認の件 2 2021年度収支決算書承認の件 3 定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等について 4 東京シンポジウムについて 5 東京都以外で開催するシンポジウムについて 6 報告事項:理事長(書面にて)及び常務理事より、職務執行 状況報告 (その他:各事業委員長と事務局から、2022年度の各事業の開催方法等の報告等。)	全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 出席者全員了承 出席者全員了承	理事8、監事1
2022年6月23日 (電磁的)	1 財団職員退職に伴う退職金について承認の件 2 新規採用の職員の基本給について承認の件	全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決	理事9、監事2
2022年11月18日 (電磁的)	1 第9回中学生・高校生フォトコンテスト受賞作品承認の件	全会一致で承認・可決	理事9、監事2
2023年2月1日	1 2022年度学術研究助成決定の件 2 2022年度高等学校助成決定の件 3 第14回フォトコンテスト受賞者承認の件 4 報告事項:理事長及び常務理事より、職務執行状況報告 (その他:2023年度の九州シンポジウムのテーマ等の相談。次年度のシンポジウム及び高校生ポスター研究発表の開催方法の検討。40周年記念事業委員長より、40周年記念冊子作成の進捗報告。事務局から、次年度の選考委員推薦依頼及び事業計画等の策定にあたっての方針等の確認。)	全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 出席者全員了承 出席者全員了承	理事9、監事2
2023年3月15日	1 2023年度事業計画承認の件 2 2023年度収支予算書承認の件 3 特定資産預入承認の件 4 2023年度学術研究助成並びに高等学校助成選考委員選任の件 5 2022年度 学術研究助成者の助成金振込について 6 2023年度 東京シンポジウムのテーマについて (その他:事務局より、内閣府立ち入り検査報告についての報告、矢島理事より、九州シンポジウムについて準備状況についての報告。40周年記念事業委員長より、冊子作成についての報告。)	全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 出席者全員了承	理事9、監事2

(2) 評議員会(総評議員数10名、定足数6名)

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果	出席人数
2022年6月14日 (Web会議)	1 2021年度事業報告並びに附属明細書報告の件 2 2021年度収支決算書承認の件 3 報告事項:理事長及び常務理事より、職務執行状況報告及び事務局より、2022年度の各事業開催方法等についての補足報告がなされた。	全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 出席者全員了承 出席者全員了承	評議員7 (理事5、監事2)

(3)選考委員会(学術研究助成)

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
2022年5月31日 (ハイブリッド会議)	1 選考委員長の選出 2 財団の助成に関する基本的な考え方について 3 審査の方法 4 応募要領及び申請書について 5 評価の方法	小柴和子氏(東洋大学)を委員長に選出。申請案件を各選考委員によって3つの評価項目に付き4～1の評点を記し、総合評価としてA～Dの評点を記入した評価表を作成し、これらをまとめた総合評価表を基に、選考委員会において最終決定することを承認。
2022年12月22日	2022年度学術研究助成(動物学)候補者選定の件	候補者として23名総額15,000,000円を選考した。又、決定後辞退があった場合を考慮し、繰上げ候補者5名を選考した。

(4)選考委員会(高等学校助成)

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
2022年6月7日	1 選考委員長の選出 2 募集案内及び申請書について 3 審査の方法 4 評価の方法	長尾嘉崇氏(東京都立八王子東高等学校教諭)を委員長に選出。事務局より助成総額と各助成金額と助成内容(A①備品・②日本国内での課外活動に必要な交通費等の補助・B生徒用の古い顕微鏡の買換え補助の3通り)は昨年度と同様という説明がされた。申請案件を各選考委員によって、A①と②は3つの評価項目の評点(5～1点)、総合評価(A～D)、優先順位を記入した評価表を作成、又、Bについては備品台帳を確認の上、古いもの・地域性を考慮した上で優先順位を記入した評価表を作成し、これらをまとめた総合評価表を基に最終決定することを承認。
2022年12月6日	2022年度高等学校助成候補校選定の件	候補校として5件(A①1件・②0件・B4件)を選考した。委員会後に各候補校より見積書の提出を受け、検討を行い、理事会において承認を得た。これにより、上記5校を候補校とし、総額は3,709,200円となった。

選考委員(学術研究助成):6名

学術分野	氏名	就任年月日	現 職	備考
動物学	小柴 和子	2022年4月1日	東洋大学 生命科学部 教授	委員長
〃	松本 緑	〃	慶応義塾大学 理工学部 准教授	
〃	篠原 現人	〃	国立科学博物館 研究主幹	
〃	江口 克之	〃	東京都立大学 理学研究科 生命科学専攻 准教授	
〃	宮本 教生	〃	国立研究開発機構 海洋研究開発機構 研究員	
〃	窪川 かおる	〃	弘前大学 農学生命科学部 客員研究員 帝京大学 先端総合研究機構 客員教授(財団理事)	

選考委員(高等学校助成・旧備品助成):3名

氏 名	就任年月日	現 職	備考
長尾 嘉崇	2022年4月1日	東京都立八王子東高等学校 教諭	委員長
前川 恵	〃	東京都立西高等学校 教諭	
藤木 真	〃	雙葉中学校・高等学校 教諭	

② 職員に関する事項

(2023年3月末日現在)

職名	常勤・非常勤	氏名	採用年月日	担当事務	備考
職員	非常勤	藤原 基美子	1980年9月28日	事務局長	
職員	常勤	山本 雅英	2022年6月1日	一般事務	

③ 許可、認可、承認、証明等に関する事項

該当なし

④ 契約に関する事項

該当なし

⑤ 寄付金に関する事項

該当なし

⑥ 内閣府公益法人(行政担当)への届出

提出年月日	届出内容
2022年6月23日	2021年度 事業報告等
2023年3月27日	2023年度 事業計画書等

*役員等に関する変更届は、全員再任の場合は届出不要。

<附属明細書の作成について>

上記の事業報告に関して、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定されている附属明細書により、その内容を補足すべき重要な事項はありませんので附属明細書は作成していません。

2022年度(第31回)学術研究助成 助成者一覧

助成金額 合計15,000,000円

[動物学] 23名

No.	氏名	研究課題	助成金
1	猪飼 桂	シロアリと新規な腸内原生生物の進化基盤の解明	53万円
2	上田 裕尋	鳥類の前肢血管系に見られる体温調節機構の生理学的特性の解明	100万円
3	上野 大輔	アジアにおけるヤドリイツツノムシ属截頭類の種多様性と種多様化メカニズムの研究	80万円
4	臼井 郁	コウモリが翼を獲得できたのは体表に膜を作りやすい系統的特質ゆえか?	78万円
5	葛西 弘	未知の生息環境「落枝」に潜むトビムシの種多様性の解明	44万円
6	小池 伸介	大型有蹄類における動物付着散布を行う種子の散布過程の解明	65万円
7	小出 哲也	日本の希少淡水魚オヤニラミの生物学～上位捕食者の脳のおもしろい解明に向けて	70万円
8	小枝 圭太	絶滅危惧種ゼブラアナゴの生息状況調査と生態の解明	70万円
9	小巻 翔平	岩手県におけるトノサマガエル種群の分布および交雑状況の評価	56万円
10	是枝 伶旺	島嶼域に生息するイドミズハゼ近似種の分類学的検討	32万円
11	鈴木 紀之	アゲハチョウ類の幼虫におけるカモフラージュ戦略と成長戦略	80万円
12	高谷 佑生	海浜性ハネカクシをモデルとしたハネカクシにおける多様化メカニズムの解明	80万円
13	富樫 辰也	日本産繊毛虫による沿岸生態系における新しい食物網経路の探索	70万円
14	戸篠 祥	日本産クシヒラムシ目の分類学的研究	63万円
15	埴 宗継	平板動物のキメラ化が引き起こす性成熟機構—キメラ化(原因)と性成熟(結果)間のギャップの解明	71万円
16	樋口 淳也	北西太平洋産カナガシラ属魚類の分類学的研究	63万円
17	久松 定智	シダ類を寄主植物とするホソセスジデオキスイ属(コウチュウ目, ケシキスイ科)の生活史および分類学的位置の検討～隠蔽的空間への適応と, 食性の起源を探る～	58万円
18	松林 圭	漂流分散による陸生無脊椎動物の隠れた分布境界仮説の検証	70万円
19	松原 和純	アカネズミにおける染色体多型が種分化に及ぼす効果の解明	61万円
20	松本 吏樹郎	日本産アリジゴク(ウスバカゲロウ)の検索システムの開発	50万円
21	八嶋 勇氣	最上川水系におけるドジョウ隠蔽種の異なる遺伝集団は別種なのか?—形態・生態的分化の検証—	78万円
22	山崎 千登勢	貝殻形質から紐解くホタテガイの生物地理: 貝塚標本に遺された痕跡に着目して	45万円
23	山田 量崇	日本産カメムシ類に残された最後の多様性: ムクゲカメムシ類の分類学的研究	63万円

2022年度（第31回）高等学校助成 助成校一覧表

助成金額 合計3,709,200円

【A① 備品助成】

	氏名・学校名	生徒数	品名
1	表 潤一(28才) 仙台城南高等学校 全日制課程	1年 300名 2年 50名 3年 90名 クラブ活動その他90名	動画撮影機能付き光学顕微鏡 1台 492,800円 HDMIデジタル化マイクロスコープ PantherE2-1080M 島津理科
			合計 492,800円
			A① 合計 492,800円

【A② 交通費助成】

該当なし

【B 生徒用顕微鏡の買換え補助】

	氏名・学校名	生徒数	品名
1	野口 愛(34才) 長野県岩村田高等学校 全日制課程	1年 200名 2年 200名 3年 80名	1.生物顕微鏡 (ケニス)E5-600D 13台 単価 75,900円
			消費税10% 合計 986,700円
2	太田代 里子(42才) 千葉県立茂原高等学校 全日制課程	1年 159名 2年 115名 3年 53名	1.生物顕微鏡 (ケニス)JLS-600D 9台 単価 41,800円
			消費税10% 合計 376,200円
3	矢追 雄一(46才) 静岡県立焼津中央高等学校 全日制課程	1年 287名 2年 284名 3年 279名	1.生物顕微鏡 (ケニス)NJL-600SM-CN 22台 単価 45,250円
			消費税10% 合計 995,500円
4	角村 文夫(57才) 白木 久美子(39才) 山口県立宇部商業高等学校 全日制課程	1年 0名 2年 120名 3年 125名	1.生物顕微鏡 (島津理化)BA80-6S 13台 単価 66,000円
			消費税10% 合計 858,000円
			B 合計 3,216,400円